

## 東京エレクトロンの新環境ビジョン

東京エレクトロングループは、2007年度を基準として環境負荷を2015年3月末までに半減することを目標として、お客さまの工場および自社での取り組みを進めてきましたが、2011年度にこの目標を前倒しで達成する見込みとなりました(p.15参照)。これを機に、当社グループの環境への取り組みをより多面的に、より広範囲で進めていくために、新しい環境ビジョンを制定し、さらに新たな目標を設定しました。

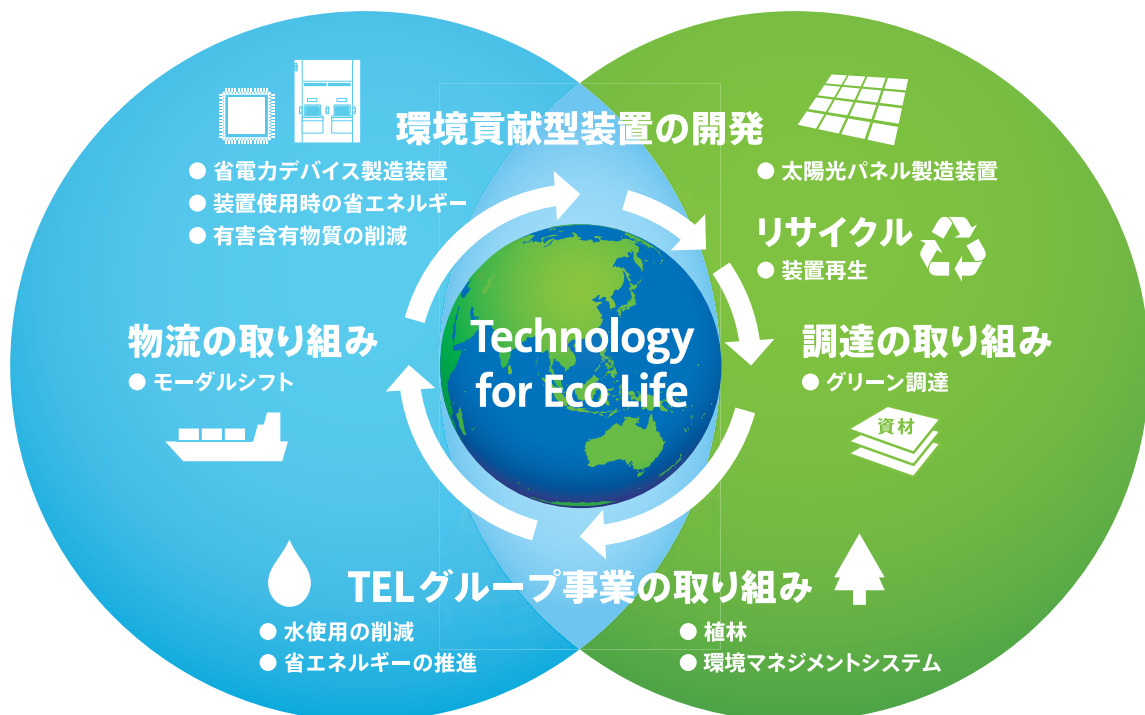
## Technology for Eco Life



### 技術で環境問題に取り組む

東京エレクトロングループは、「Technology for Eco Life」を環境活動の中核として、地球環境を大切に、環境との調和を考えた持続可能な社会を実現することを重要な目標として活動しています。

### 地球環境に技術で貢献するグローバル企業



### TELの環境ビジョン

#### 地球環境負荷の削減

地球環境負荷の削減と新たな価値の創造を目指して、地球温暖化防止、気候変動防止、資源の保全、化学物質の適正管理と削減、生物多様性保全に向けての活動を行います。

#### お客さまの工場における環境総合負荷半減

環境の重点目標として、お客さまの工場における環境総合負荷半減を掲げています。われわれの持つ先進的な技術やサービスを提供することでお客さまとともに地球環境を考えた社会づくりに貢献します。

#### 透明性のある環境経営

グローバル社会の一員として、透明性のある環境経営を行い、幅広く世界の人々から支持される企業づくりに努めます。

## 東京エレクトロンの新環境目標について

左に掲げた環境ビジョンに基づき、「製品貢献」「事業所」「調達・物流」「環境マネジメント」の4分野において新しい環境目標を設定しました。従来から掲げてきたスローガン、「技術で環境問題に取り組む - Technology for Eco Life」を引き続き環境活動の中核として位置付け、今後も地球環境に装置技術で貢献するグローバル企業を目指して活動をさらに加速していきます。

### 製品貢献

内容	中長期目標
製品の環境負荷低減	各ビジネスユニット代表機種で50%エネルギー低減(2014年度、2007年度比)
製品の中国RoHS適合	継続的に適合
各国製品環境コンプライアンス	欧州REACH、各国GHS、電池規制に継続的に対応
製品の自主的欧州RoHS対応推進	各ビジネスユニット代表機種で欧州RoHS適合部品率98.5%以上を継続

### 事業所

内容	2012年度目標	中長期目標
省エネルギーの推進	前年度比1%削減	前年度比原単位1%削減 各事業所ごとの原単位を総合評価 p.20参照
水使用の削減	2011年度レベルを維持する	2011年度レベルを維持 各事業所ごとの原単位を総合評価 p.21参照
廃棄物リサイクル	リサイクル率97%以上を維持 ゼロエミッション継続 p.22参照	

・対象範囲は国内です。海外は2012年度以降、協議の上決定する計画です。

### 調達・物流

内容	2012年度目標	中長期目標
グリーン調達	禁止物質・制限物質リストの改訂実施	含有化学物質管理の継続実施と調達先の環境マネジメントシステムとの連携強化
物流における環境負荷低減	モーダルシフトを推進 モニタリングの継続	

### 環境マネジメント

内容	2012年度目標	中長期目標
環境マネジメントシステム	当社グループ製造系事業所でのISO14001取得の継続	
環境教育	教育案策定、実施(国内)	当社全グループでの実施
環境コミュニケーション	環境・社会報告書の継続的発行と充実	
生物多様性	調査、検討の上、方針決定、計画策定	調査検討の上、2013年度より活動開始



東京エレクトロン株式会社  
代表取締役 専務執行役員  
製造本部長 品質担当  
北山 博文

## 引き続き技術で環境問題に取り組み、 ステークホルダーの皆さまの期待に応えていきます

地球環境を保全し、継続的に改善することが優先課題の一つとの認識に立ち、技術で環境負荷低減を推進しています。今回、新たに環境目標を設定しましたが、当社グループの製品がお客様の工場稼働の際の省エネルギー化、CO<sub>2</sub>排出量削減が最重要であることには変わりありません。この点を製品貢献として位置付け、今一度、環境目標を見直し、各ステークホルダーから信頼される企業として、その具現化に向けて邁進していきます。